

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名	グループホームうぐいす
日付	平成16年12月14日
評価機関名	社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会
評価調査員	特別養護老人ホーム等での痴呆性高齢者介護歴 9年 介護支援専門員として痴呆性高齢者の介護歴 12年
自主評価結果を見る（事業所の自主評価結果にリンクします）	
評価項目の内容を見る（岡山県の定めた評価項目へリンクします）	
事業者のコメントを見る （評価結果に対する事業者の改善状況についてコメントがあります！）	

外部評価の結果

講評
全体を通して（特に良いと思われる点など）
併設の施設（デイサービス、特別養護老人ホーム、身障施設、有料老人ホーム）との協力関係ができており、医療機関とも連携がとれています。また、そのため、施設間の見守りがあるので、入居者だけで散歩ができるなど、グループホームは開放的です。
費用が比較的安価で、職員にとっては安定した職場職員の移動がなく、入居者とのなじみの関係ができています。
緊急時に職員が困らないよう対応するために医療情報ファイルを作成し、日常生活においていろいろな場面でのチェック表を作り、本人に合わせたサービスができるようにしています。
ゆっくりタイムを作り入居者とスタッフが一緒に楽しみ自然に家族的な雰囲気を作っています。
特に改善の余地があると思われる点
個人の問題点を把握して話し合いを持っていますが、伝言メモを生かして個人のケースを充実させることを望みます。
グループホーム責任者が、職員に常々教育を行っていますが、専門的な資格を持っておられる方が少ないので、今後、資格取得をしてもらいたいと思います。

運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か 入居者が楽しいひとときと気持ちを楽しんでほしい。 入居者が在宅生活と少しでも変わらない生活ができ、一日が終わる時に「今日も気分がいいな」と思う気持ちもてるよう、職員が一つになる気持ちをもち介護しています。 家族から入居者の様子が、「顔でわかる」という言葉（多くの言葉でなく、穏やかに過している笑顔が見える）を聞くことを目指しています。		

生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間づくり		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の環境づくり		
4	建物の外周や空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か 畳の間は、懐かしい民芸品、アイロン、うちわなどさりげなく飾られています。リビングはワンフロアであるので、それを区切るように家具や背の高い植物で入居者が、落ち着ける場を作っています。 心地よい音楽が、自然に流れて気持ちが落ち着く雰囲気になっています。これらも、職員が季節により相談しながら、配置をしています。		

ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

ケアサービス（つづき）

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物支援		
23	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か 入居者の先輩として尊敬の気持ちを忘れずに、個人を傷つけない言葉かけをしています。 入室の際は必ず部屋におられなくてもノックやあいさつをしています。 職員は入居者の経験を、人生の先輩からの教えとして受け取り、例えば、わからないところを「教えてください」と入居者に話しかけるなど、知識をもらっている態度で接しています。		

運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か ヒヤリハット報告書を作り、スタッフ間で問題について話し合いもち、問題の発生を予防しています。 また、管理者は資格のないスタッフに対し、マニュアルを活用して、積極的に介護技術指導を行っています。		